



新年のご挨拶 千代田区議会議員 松本佳子



新年明けましておめでとうございます。

平成を締めくくる希望に満ちた平成31年の新春を迎え、千代田区議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

区民の皆様をはじめ区政関係者の皆様には、日頃より区政に対し深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、大阪北部地震、北海道胆振東部地震や西日本豪雨などの大規模災害が全国各地で発生しました。改めて、本区においても、想定外の災害等にも対応できるよう、より一層危機管理体制の充実に向けた取り組みが必要であると認識しました。

区政においては、危機管理対策をはじめ、次世代育成支援や保健福祉施策の充実、環境対策の推進、東京2020オリンピック・パラリンピック開催を契機とした施策の推進など多くの課題がございます。

区議会といたしましては、「誰もが安全に安心して暮らし続けられるまち千代田」の実現のため、これらの区政課題解決に向け、執行機関と連携し、全力を尽くしてまいりますので、相変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新元号幕開けの年ともなる本年は亥年で、「無病息災の年」とも言われています。本年が、何事もなく平穏無事な年になり、皆様にとって幸せに満ち溢れた明るい1年となりますことを、心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



千代田区議会議員

トップニュース

Top News

附帯決議を付して、平成29年度千代田区各会計歳入歳出決算を認定！

■第3回定例会で、継続審査となっていた決算の認定について、附帯決議を付して認定しました。

固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書を可決

■東京都に対し、固定資産税の大幅減税措置を強く求める意見書を、全会一致で可決しました。
(詳細は9ページをご覧ください。)

皇居周辺の濠、河川の水質改善を求める意見書を可決

■国等に対し、濠や河川の水質改善に向け、河床のしゅんせつ工事の促進や、広域的な水の循環を促進する試験通水等に着手することを強く要望する意見書を、全会一致で可決しました。
(詳細は9ページをご覧ください。)



主な内容

- 代表質問 2～3面
- 一般質問 4～5面
- 定例区議会活動報告等 6～8面
- 本会議で可決した意見書等 8～11面
- 議案の審議結果等 12面

提案された議案等

- ◆区長提出議案
 - ・条例 1件
 - ・予算、決算 2件
 - ・契約 1件
 - ・人事 1件
- ◆委員会提出議案
 - ・意見書 1件
 - ・決議 2件
- ◆議員提出議案
 - ・条例等 6件



●ホームページアドレス

<http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>

●メールアドレス

kugikai@city.chiyoda.lg.jp

*区議会だよりは、新聞折込で配布しています。購読していない区内在住・区内事業者の方には郵送いたします。
また、CD版、点字版も作成しています。区内在住でご希望の方は、区議会事務局 ☎5211-4297(直通)までご連絡ください。



区議会だよりは区議会ホームページでもご覧になれます。また、区議会の最新情報をお届けする「メールマガジン」も発行していますのでぜひご利用ください。

平成30年第4回定例区議会

代表質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

自由民主党議員団

嶋崎 秀彦

人口増加を見据えた財政運営について

問 区の人口増加は推計を上回り、保育園、学校等の拡充や老朽化施設の改修、コミュニティのあり方等課題が山積。これまで区が貯蓄した1100億円の基金を区民サービスの継続的・安定的提供に有効活用すべき。今後の中長期的な施策展開について問う。

答 今後、歳入の減少が懸念される。基金の有効活用と中長期的財政を毎年度試算し検証。財政安定化に努める。また、コミュニティのあり方を含め、新しい施策を検討する。

景観行政団体への移行について

問 法律により千代田区の景観規制等を行っている景観行政団体は現在、東京都だが、平成32年度中に区に移行するとしている。今後のスケジュールは。

答 平成31年4月に移行し計画を策定。平成32年度中に条例改正後、正式に景観行政団体事務を行う。

地方との連携について

問 都市活動を支える電気、食料等は地方頼み。手続等に時間を要する姉妹提携に代わる民間交流を含めた新たな地方との連携が必要。見解は。

答 12月に期間限定で区が配送費を負担し岩手県大槌町の特産品を区内流通させる取り組みを行う。今後も新たな地方連携を模索し強化していく。



自由民主党 新しい千代田

林 則行

基本計画の見直しと行政評価

問 ①区の最上位計画の基本計画について、分野別計画との整合性と分野別計画相互の関係は②基本計画の想定人口等が現状とかい離している。基本計画等の改定が必要。手順・手続きは。

答 ①分野別計画は基本計画等を補完するため、各分野の方針等を具体化したものであり、各計画相互の整合性を図るべきと考える②新たな推計作業の中で想定人口とのかい離を分析。庁内検討会議で、見直しの方向性を定める。

小学校体育館のエアコン整備

問 補正予算で今後設置するが①工事でなくリース方式になった経緯②当該方式で補助金は受けられるのか。

答 ①短期間整備等の諸事情を勘案した②国補助金は対象外。都補助金は未定だが、対象になるよう要望中。

文化財保護と外堀跡保存管理

問 史跡「江戸城外堀跡」である外濠公園に路上生活者緊急一時保護センターを設置した際、文化庁等との協議経過や会議録等は保存されているか。

答 関係機関と事前協議を行い、方針を相互に確認し、文化庁から史跡を適切に保存するための管理計画書を策定するよう要請があった。協議内容は適切に保存している。



外濠公園総合グラウンド

日本共産党区議団

牛尾 耕二郎

高すぎる国保料の負担軽減を

問 ①区は今年度、一般会計予算の一部を国保会計に繰り入れ、中堅所得者層の保険料を引き下げた。来年度以降も国保料を引き下げするため、法定外繰入の維持と増額を求める②世帯員数に応じた均等割算定は多子世帯ほど国保料が引き上がるため、子育て支援に逆行している。区独自の負担軽減策を。

答 ①保険料の負担緩和等を図る目的で投入する法定外繰入は可能な限り解消、縮減することが国等から、求められている。計画的、段階的な削減を慎重に進める②子の数だけ保険給付が増加するため均等割負担は止むを得ないが、一定所得以下の世帯は軽減策を設けている。制度的課題のため保険財政への影響を考慮し国等に改善を求める。



教師の多忙化解消を真剣に

問 ①教職員の長時間労働は、教員を増員し、授業の負担を減少させることで根本的に解決する。区の見解は②事務負担軽減に向け、学校給食公会計化の検討と具体化の進捗状況を明らかに。

答 ①教員の定数は法定であるため増員は困難だが、区では時間講師を任用し各校に配置することで授業負担を軽減している。他にも定時退庁日の設定等、多忙化解消に向けた検討を行っている②事務の透明性、公平性を担保する観点からも公会計化について検討を進めていきたい。

平成30年第4回定例区議会

代表質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

千代田を紡ぐ会・立憲



岩佐 りょう子

学校給食の公会計化を

問 ①現在の私費会計では、徴収や督促をする教職員の負担も大きい。現状把握は。また、公会計化してはどうか
②給食費の滞納も含め税金等の滞納情報を一元管理し、区民の困窮状況を把握したうえで適切な支援につなげる「生活再建型滞納整理」を行うべき。

答 ①現在は私費会計で、処理要綱も定めているが、会計の透明化や未納者対応の負担軽減等も考え、公会計化を検討する②滞納情報一元化での支援は、全庁的に検討すべき課題。



持続可能な開発目標について

問 SDGs(エスディージーズ)は、国連で定め日本も採択した、経済・社会・環境をめぐる産業と技術革新、ジェンダー平等、気候変動や防災への対応等、さまざまな課題に統合的に取り組む行動計画。多くの目標があるが①区でないと達成できない目標もあり、区政への取り入れ方は②区の各計画へも反映を③これに取り組んでいる企業・各団体等を支援し、情報共有や発信を。

答 ①今後議論を進める②各計画の改定時に、目標との関連性を考え議論を進める③目標に取り組んでいる各団体の活動を支援し、国や他自治体の事例も今後研究していく。



公明党議員団



大串 ひろやす

プラごみ削減へ循環型社会構築を

問 プラスチックごみによる海洋汚染が深刻であり、生態系破壊の原因ともなっている。大量生産・大量消費・大量廃棄型経済社会から資源循環型社会へ生活スタイルの転換を図るべき。具体的には①発生抑制 (Reduce) ②再使用 (Reuse) ③再生利用 (Recycle) ④熱回収 ⑤適正処分という優先順位のある廃棄物処理の推進である。区として資源循環型社会構築へどう取り組むのか。

答 清掃工場を持たない千代田区として、プラスチックも他に先駆けて資源化に努めている。レジ袋をもらわない等の、断るといふRefuseのRも加え、資源循環型社会を目指す。



神奈川県のクジラからのメッセージ

3R推進行動計画書作成を提案

問 3Rの推進は区民、事業者、区が目的・ノウハウ・情報を共有し、主体的に取り組むことが必要。それぞれが参加し主語が「区民」、「事業者」、「区」となる自分たちの行動計画「3R推進行動計画書」の作成を提案する。タイトルは「千代田区3R推進ブック」にしてはどうか。

答 3Rの推進は、区民と事業者、区がノウハウや情報共有しながら取り組むことが重要。ご指摘の点も含め、「千代田みらいくる会議」の意見を聞きながら検討する。



平成30年第4回定例区議会

一般質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

木村 正明 (共産)



環境とまちづくりについて

問 超高層ビルの抑制なしにCO₂削減はない。地球温暖化対策条例前文の「経済と環境との調和」の削除を。

答 経済と環境双方が人間生活を豊かにする。前文は本条例の基本理念。従来通りの考え方で推進していく。

介護保険制度について

問 10月から生活支援サービスを多数回利用する場合、ケアマネジャーが保険者にプランを届け出る義務が発生し、必要性が検証される。利用抑制につながるのでは。

答 適正化のため検証は行うが、介護保険で認められない生活援助等、実態に合わせた単独事業を実施。

大坂 隆洋 (自民)



高齢者施設の整備について

問 ①人口増により待機者数も増。現状把握や検討、対策は②介護老人保健施設はリハビリも充実。これを区内に整備する計画だが、広いフロア面積等が必要。

答 ①人口推計で施設需要を推計し整備する②一定規模の土地や病院等との連携が必須。既存病院建て替え時の整備補助制度を検討中。

新公会計制度について

問 新たに昨年、財務諸表が導入された①事業コスト評価を行い、予算策定に活用を②より見やすくすべき。

答 ①継続して有効活用方法を研究する②指摘を踏まえ、さまざまな工夫をする。

小林 たかや (自民)



職員体制と採用について

問 ①幼稚園正規教諭の計画的採用・人事異動目的は②人口増で増えた区の業務量。AI活用により対応を。

答 ①所定人員を計画的に確保。8園の運営で組織活性化②積極的に研究する。

区広場の維持管理について

問 秋葉原駅東西広場の透水性舗装は破損しやすく維持費用も高い。見解は。

答 西口は舗装材を見直す。費用抑制の工夫も実施。



デザインではなく補修の跡

山田 丈夫 (自民)



本区の水害対策について

問 ①避難所の一部は浸水想定区域内である。災害別に避難場所を変更すべき②荒川洪水ハザードマップの作成時期と周知方法は③河川氾濫時、避難情報の伝達方法は。

答 ①浸水時間、期間に応じた周知、対応に努める。なお、荒川の大規模氾濫時の具体的な避難場所等については、現在、避難想定者数も踏まえ検討中②マップを作成中。来年度を目途に区内全戸に配布する③避難勧告発令時、ハザードマップの情報を的確に使用し、防災行政無線やSNS、ラジオ等で避難方法を周知する。

永田 壮一 (自民)



地球温暖化対策について

問 ①区の事業と予算規模は②CO₂温暖化説には懐疑論も多い。より実効性のある対策を③国の原子力を含むエネルギー政策への理解促進、積極的関与を求める。

答 ①今年度9事業、約2億5千万円の予算②森林整備活動を通じた人材育成、地域交流、環境教育を実施③国の政策を踏まえ、区民へ情報提供を行い区の役割を果たす。



寺沢 文子 (紡憲)



シルバートレーニング事業

問 本事業は今年度から週2回から1回に利用が制限された。2回実施が健康増進に効果的。拡充すべき。

答 自主的な取り組みと、新参加者優先のため一人週1回で実施。予防の観点から事業の拡充も含め実施方法を検討していく。

配食サービス復活について

問 今年度、昼夕食の配食事業が廃止となり、栄養士等の訪問による月1回、3カ月間の配食体験事業に代わった。年金生活者等に大きな負担が生じている。対策をとるべき。

答 支援が必要な高齢者を対象に新たな支援策を検討。

池田 ともり (自民)



安全安心な千代田へ

問 ①特殊詐欺被害ゼロに向け自動通話録音機の設置促進を②小中高生が参加する避難所防災訓練の実施を。

答 ①設置事業の一層の周知を図る②関係機関と調整し小中高生の参加につながる訓練内容を充実していく。

配電地上機器の活用を

問 発災時に配電地上機器のデジタルサイネージを活用して情報伝達を。

答 平常時の利用も含め、関係機関と協議、検討する。



平成30年第4回定例区議会

一般質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

桜井 ただし (自民)



来街者にやさしい住所表示は

問 来街者に分かりやすい住所表示について①区の関連施設や、案内板等への表示は親切かつ明瞭に②東京2020に向けた検討内容は。

答 ①来街者に対して、区のおもてなしサービスであると認識。統一的な表示のあり方を検討②景観や多言語化等に配慮した案内表示を整備中。また、大会用の特設案内や大会スタッフによる案内、誘導等を行う予定。



岩田 かずひと (立憲)



ビーガン製品等の表示

問 ビーガン(動物性食品を口にしない菜食主義者)への情報提供の方法は。

答 料理飲食業組合等、専門家からの意見を踏まえ、観光協会と連携し検討していく。

障害者等支援に関するマーク

問 周囲に援助の必要性を知らせるヘルプマーク等を区はどう普及させるのか。

答 障害者週間のイベントや福祉まつりに限らず、多種多様な機会にて広報する。



飯島 和子 (共産)



ボール投げができる遊び場

問 子どものボール遊びに重点を置いた、永続的に利用できる広場が身近に必要。公有地の活用や購入など、思い切った取り組みを。

答 関係部署と連携し遊び場確保に多角的に取り組む。

人権を尊重した区政を

問 ①内心に踏み込んだり、行き過ぎた画一的指導は、人権侵害になるのでは②同性パートナー認証の見解は。

答 ①各教員が人権感覚を磨き、偏見や差別がない学校と平等な社会の実現を目指す指導を実施②ガイドラインを策定し区職員、教職員、区民、企業等へ啓発事業を実施し周知する。

はやお 恭一 (千代田)



文化財保護のあり方

問 ①法改正に伴う文化財保護の事務所管の庁内検討状況②「文化財価値」を維持する体制への取り組みは。

答 ①教育委員会と十分に認識を共有し区長部局が事務を担当すべく庁内調整中②計画的な保存・活用促進や保護行政の強化を図る。

マンション管理の条例化

問 ①施策の担当部局に一貫性がない②地域コミュニティ活性化のため、町会加入促進に関する規定が必要。

答 ①まちみらい千代田が従来通り窓口②マンションの適正な維持管理が目的。副次的効果としてコミュニティ活性化も図られる。

たかざわ 秀行 (千代田)



職員体制の将来像

問 都の事務の一部が区に移管される。膨大な事務に対応するための職員体制は。

答 規模の増加と質の変化への対応が重要。ICT等、先端技術の活用や民間活力の効果的導入等を行い、その体制確保に努力する。

町会と行政の関係

問 区や関係団体との協働が多く、町会の負担が大きいと聞く。区の関連する行事や町会との協働作業を精査し、見直しを。

答 町会活動を支える町会役員、婦人部の負担が大きいことは承知している。実情を把握し地域活動に無理なく参加できるよう努める。

米田 かずや (公明)



風ぐるまのルートと時刻表

問 ルート、時刻表の改正後、多目的に利用する人が増大。現状を踏まえ、次期改正には保健福祉部だけでなく、全庁的な対応が必要。

答 地域交通の期待が大きいと認識。より有効な交通手段になるよう全庁で検討。

液体ミルクの備蓄について

問 災害時用に液体ミルクを避難所等に備蓄すべき。

答 食品ロスにならない方法で関係部署と調整し、試験的に一部の避難所で備蓄。



平成30年第4回定例区議会

定例区議会活動報告

常任委員会



常任委員会では、区長提出議案3件(条例1件、契約1件、予算1件)を審査しました。議案の審査経過をご紹介します。なお、審議結果は12ページをご覧ください。

企画総務委員会

議案の審査経過は以下のとおりです。

「九段坂公園改修工事請負契約について」は、九段坂公園の改修工事に関する請負契約を締結するため、議会の議決に付すものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、区は入札不調や1者応札などのリスクを避け受注機会の拡大を図るため、過去の同種の案件と比較して今回入札参加資格要件を若干緩和したが、今後、契約履行の品質の確保を考慮しながら、他自治体の事例等を参考に研究していきたいと考えていること等が明らかになりました。

〈討論〉

【反対の意見】

千代田区は「教育と文化のまち宣言」により、日本の経済発展の中で歴史的環境がこわされ、多くの仲間がこのまちを離れているという状況に対し、「教育と文化」をよりどころにして克服すると宣言している。文化財（特別史跡江戸城跡）に関して必要な手続きを区が後付けで行うことは一議員として見過ごせない。トイレの設置場所も、展望台をふさぐ田安門に近い場所でよいのか確信が持てないため、反対する。(小枝)

【賛成の意見】

東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会を契機に、大会会場の日本武道館周辺の整備を進めるものであり、千鳥ヶ淵緑道との連続性、バリアフリー、眺望の確保、歴史的資源の保全を取り入れた基本構想、整備内容について学識経験者及び地域の意見を聴いて丁寧にまとめてきた経緯がある。大会に間に合うよう、また大会後も末永く愛される公園となるよう計画的に工事を実施することを求め、賛成する。(永田)

その他「(仮称)エコセンターの検討状況について」「外濠公園総合グラウンドの整備について」等の報告がありました。



地域保健福祉委員会

議案の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区印鑑条例の一部を改正する条例」は、コンビニエンスストアに設置されている多機能端末機において、個人番号カードを利用して印鑑登録証明書の交付を受けることができるようにするとともに、庁舎においても個人番号カードによる印鑑登録証明書の交付申請を受けることができるようにするため、規定を整備するものです。コンビニエンスストアにおける印鑑登録証明書の交付につきましては平成31年2月15日から、庁舎における印鑑登録証明書の交付申請につきましては規則で定める日から施行します。

〈審査経過〉

コンビニエンスストアにおける証明書交付を行っている全国自治体の状況については、半数以上の区市が導入しており、人口割合では全国民の約7割がこのサービスを受けられる状況にあること。個人番号カードによる情報の漏えいの危険性については、個人番号カード自体に入っている情報としては券面に書いてある住所、氏名等の情報のみであり、全ての情報が洩れることはなく、利用者、特に区民に対しては個人番号カードの安全性を説明し、事故のないよう啓発していくことを考えていること等が明らかになりました。

〈討論〉

【反対の意見】

利便性を強調するが、日常生活において、印鑑証明の交付の頻度が高い人は多くはない。むしろ、申請者の本人確認なしで交付をすることによるリスクも想定される。とりわけ財産に関する印鑑証明の交付において、安全性が完全に担保されるわけではないため、反対をする。(飯島)

情報流出の際の危険性の増大、被害の拡大など懸念は払拭できないことが明白である。区には周知くらいしか方策がなく、情報を一元化し危険性を増大させるわけにはいかない。印鑑登録証明書は不動産取引にも使える重要なものであり、土地家屋まで取られる危険性もある。よって反対する。(岩田)

【賛成の意見】

情報漏えいが起きないようにすることは当然だが、さらなる対応策についても引き続き行うとともに、不安解消に向けて、丁寧な説明をお願いする。また、今回の改正をきっかけとし、個人番号カードのさらなる利便性の向上と普及に向けた取り組みも強化していくことをお願いし、賛成する。(大坂)



平成30年第4回定例区議会

定例区議会活動報告

常任委員会



子育て文教委員会

議案の審査経過は以下のとおりです。

「平成30年度千代田区一般会計補正予算第1号」は、番町小学校、お茶の水小学校仮校舎、和泉小学校の体育館に空調設備を整備するため、債務負担行為を新たに追加するもので、事業費は2億3178万2千円、期間は平成30年度から平成34年度です。

<審査経過>

質疑の中で、リース方式には①初年度に多額の費用がかからず、財政負担が平準化する②導入までの期間が短い③別途メンテナンス契約を結ぶ必要がないというメリットがある一方で①金利負担が生じる②学校施設の場合、国庫補助金の対象とはならないというデメリットがあることが明らかになりました。

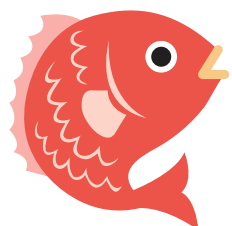
また、直接工事の場合は、試算で2億3,248万円程度の工事費がかかり、最短でも来年8月完了となるが、リース契約では、来年6月までに導入できる見込みであること。こうした諸事情を勘案して、今回リース方式を採用したことが明らかになりました。

また、温度設定が冷房時28度以下になるよう仕様書に盛り込み性能発注を行うこと。リース期間満了後は区の所有物とし、有効活用を図っていくこと等の整備内容が明らかになりました。

次に区からの報告8件のうち主な内容は以下のとおりです。

「保育士奨学金返済支援について」は、区が補助している保育施設に勤務し、在学中に奨学金を利用し、現在も返済を続けている保育士を対象に、定着率向上を目的に月2万円を上限で10年間又は返済終了まで補助金を交付する事業を開始すること。区外に異動した場合は対象外となるが、本事業を利用する保育士が長く区内で勤務できるよう事業者に要請すること。他に2区が類似事業を行っているが、10年間で最大240万円の補助が受けられるのは千代田区独自であること等が明らかになりました。

その他「次期次世代育成支援計画策定に向けたニーズ調査の実施について」「お茶の水小学校・幼稚園 通学・通園バスの運行について」「平成31年度 区立幼稚園・こども園(短時間) 新入園児 申込結果について」「和泉小学校・いずみこども園の施設整備について」等の報告がありました。



特別委員会



オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

オリパラ教育として、トップアスリートとの交流体験を通じ努力の大切さ、日本人としての自覚と誇りを醸成する各学校の取り組みについて報告がありました。また、ボランティア活動として、語学を生かした活動への登録や、観光・道案内をする千代田区観光ボランティア講座を予定していること、都市ボランティア募集とあわせて区独自の柔軟な対応を研究すること、「ちよだ安心トイレ」として、民間施設のトイレを開放するため、事業者と協定締結する旨の報告がありました。

議会のあり方に関する調査特別委員会

継続して議論している各区の委員会運営方法等の取り組みの調査報告があり、ライブ中継と発言時間の制限、委員定数の相関性について、議論しました。その中で、予算や決算委員会でライブ中継を実施している議会が多いこと等が明らかになりました。今後も他の議会で行き組む独自のルールや議会基本条例の制定状況等を詳細に調査することを確認しました。

福祉施設整備特別委員会

旧千代田保健所跡地に想定する福祉施設は、高齢者と障害者を対象とする複合施設として運営形態を含め検討を進めること。旧箱根千代田荘の利活用について、区民が保養所のように利用できる宿泊施設に福祉的な要素を加え、さまざまな角度からの調査を平成31年度に行うことが明らかになりました。また、軽井沢少年自然の家(の家の利活用について、生涯学習など学校利用以外の方法も多角的に考えるべきとの意見がありました。

都市基盤整備特別委員会

(仮称) 四番町公共施設整備については、これまでの委員会での議論を一定程度踏まえた形で実施設計に入っていくことを確認しました。

一方、(仮称) 麴町仮住宅の整備については、永田町駅への連絡通路を設置することとなった経緯・経過をあらためて調査することが必要であると判断し、関連する「区営四番町アパートの建替えに関する陳情」を継続審査としました。



決算特別委員会

当委員会に付託された議案「平成29年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について」は、第3回定例会において全議員で構成する決算特別委員会を設置し、審査しました。審査の中で債権管理について多くの問題点が指摘され、本議案の継続審査が決定されました。今定例会では、第3回定例会において全会一致で議決された『債権の真正な「決算年度末現在額」を確定し会計上の処理を行うことを求める決議』により、この間における執行機関の事務処理の進捗や再発防止策の報告を受け、質疑が行われました。質疑終了後、委員より「監査請求に関する決議」が提出され、採決の結果、賛成少数で否決すべきものと決定しました。その後、本議案の討論を終了し、採決の結果、賛成多数により可決すべきものと決定しました。採決後に、委員からの動議により、債権管理に関する事務手続きの確立や条例制定を視野に入れた不納欠損処理に至る具体的事務手続きの確立などを求めることを主旨とした『「議案第46号 平成29年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について」に対する附帯決議』が提出され、採決の結果、賛成全員により可決すべきものと決定しました。

〈討論〉

【反対の意見】

平成29年度決算は、10項目の附帯決議を受けた予算の使い方を区民目線で審査するのが役割である。職員はきめ細かいサービスに努めているが、重大な政策ほどトップダウンで決定する傾向があり、区民の声を傾聴する姿勢が希薄である。債権管理では、法で規定された決算関係書類の訂正を指摘したが、受け入れないとの答弁があり、区民にとってベストの選択をする姿勢が欠けていることから反対する。（小枝）

第1の理由は、国保料の値上げなどの区民負担増と石川区政の「行革」のゆがみがあらわれた決算である。第2の理由は、事業執行に際し、住民・関係者との合意形成が不十分である。第3の理由は、環境保全より活発な経済活動を優先させ、ヒートアイランド現象が深刻化している。第4の理由は、債権管理が適正に行われていなかった。今後は福祉の視点に立った運用とルールづくりを求め、反対する。（牛尾）

債権管理の問題は、長年にわたる事務監査で適正との記載で「決算審査意見書」自体の信用が問われることとなった。今後は再発防止のために条例等を設け、第三者のチェック体制を構築し、真摯に取り組むこと。また、政策等の大きな方向性は適正であっても、個別事業では区民要望や事業効果に疑問を感じるものが散見した。緊張感をもって区民のための行政運営に取り組むことを求め、反対する。（寺沢）

決算審査にあたり、「決算審査意見書」で生業資金貸付金の債権の「決算年度末現在額」と「貸付金元利収入」の収入未済額に差異があることが指摘され、審査の過程でも「決算年度末現在額」に誤りがあることも判明した。執行機関による債権回収・管理が適正にされていない結果であり、今定例会の審査でも「財産に関する調書」に記載すべき簿外の債権があることも判明したことにより、反対する。（たかざわ）



【賛成の意見】

債権管理のあり方については大いに反省し再発防止として、適正な会計処理システムを構築し、債権管理に努めることを求める。29年度事業では、「産後ケア事業のスタート」「障がい者の合理的配慮の推進」「国際教育の推進」「子どもの遊び場確保の取り組み」「生活困窮者自立支援」「介護保険施設等人材確保・定着・育成支援」など評価できる。来年度予算に向けても前向きな答弁もあり、賛成する。（米田）

生業資金貸付金の「決算年度末現在額」と「貸付金元利収入」の収入未済額に差が生じていると決算意見書で指摘され、審査の中でも債権額の誤りが明らかになった。更なる審査等も可能であるが、来年度予算に反映できず、区民生活に支障をきたす恐れがあることから今定例会で判断することとした。一方、決算数値自体には不適切な執行は見られず、「財政健全化判断比率」も健全であることから、賛成する。（大坂）

監査委員の指摘により生業資金貸付金について長年にわたりルールが曖昧なまま債権管理が行われたことが明らかになった。債権管理条例を制定し、管理・回収手続きの公平性と福祉的側面のバランスを取りながら改善することを求める。その他の事業では、区民の協働・参画が不十分であるものも散見したが、就学援助や生活困窮者自立支援など生活に不安のある者に寄り添った姿勢は評価でき、賛成する。（岩佐）

生業資金貸付金について、不適切な点が明らかとなり、その際に出てきた数字も二転三転し、疑義が深まるばかりであった。しかし、今定例会で真正な数字が出せたことに加え、今後の再発防止策も示されたことにより、賛成する。（岩田）

平成29年度千代田区各会計歳入歳出決算額 （単位：円）

会 計	歳 入	歳 出	差 額
一 般 会 計	52,994,048,621	50,790,749,777	2,203,298,844
国民健康保険事業会計	6,413,629,063	5,366,061,279	1,047,567,784
介護保険特別会計	4,239,487,255	3,854,009,325	385,477,930
後期高齢者医療特別会計	1,603,762,179	1,508,300,869	95,461,310
合 計	65,250,927,118	61,519,121,250	3,731,805,868

 本会議における討論（要旨）

今定例区議会では次の4件の議案を採決するにあたり、討論がありました。その要旨をご紹介します。

1. 千代田区地球温暖化対策条例の一部を改正する条例 **否決**

【反対の意見】

現在の経済活動は地球環境が損なわれないよう「経済のグリーン化」が進展している。当該条例中の「経済と環境とが調和した」は、環境基本法に謳われる趣旨を示す表現であり区等の責務となって実行されている。従って「経済のグリーン化」の取り組みに逆行する当該議案に反対する。（山田）

【賛成の意見】

条例上の目標のCO₂の排出は東京で増加が続く。企業の一極集中と高層オフィスビル開発抑制が必要。「企業の活力を損ねず、経済活動と環境を調和させる」のでなく経済を環境に適合させる立ち位置が必要であり、条例前文の「経済と環境とが調和した」は削除すべき。よって賛成する。（飯島）

2. 監査請求に関する決議 **否決**

【反対の意見】

「財産に関する調書」は決算審査の参考資料と位置付けられており、直接、決算数値そのものに影響を及ぼさない。また、執行機関が真正な債権額を提示し、応急の再発防止策も実行することが明らかになり、特別監査の必要は無いと判断した。よって本議案に反対する。(小林た)

第一に区も議会も債権管理の適正化に向け新たなルール作り動きだしており、第二に延滞金を徴収していない窓口対応について監査委員の判断をあおぐとしていること。生活困窮の恐れがある生業資金貸付金の利用者への対応は生活実態を踏まえて判断すべきで、監査請求の必要性はなく反対する。(木村)

【賛成の意見】

当該貸付金の債権額に誤りがあった原因の一部が解明できず、不納欠損処理も一部不明確。さらに決算基礎資料は直ちに訂正されるべきだが、訂正は来年度に先送り。原因解明が必要であり、監査委員に対し監査請求することが議会として再発防止に寄与すると考え、本決議に賛成する。(たかざわ)

監査委員の指摘段階で、専門性を有する会議体で原因究明と是正策がまとめられるべきと考えるが、内部的な対応で処理され原因は明らかにならなかった。決算附属書類の訂正もしないままでは、決算のあり方としても禍根を残し、区民不信を残すことになりかねない。よって本決議に賛成する。(小枝)

3. 白タク行為への更なる対策強化とライドシェアの検討に関する意見書 **可決**

【反対の意見】

白タクが道路運送法違反であり、対策と罰則強化を求めている点は賛同する。ライドシェアは①運転手が二種免許を持たない②乗務前のアルコール等のチェックがない③事故の責任が運転手個人になり、利用者の安全とタクシー労働者の暮らしに大きな犠牲をもたらしかねないので反対する。(木村)

【賛成の意見】

東京2020の開催期間には、大会関係者や観客の移動により、道路・鉄道ともに混雑する見込み。自家用車での有償運送である「ライドシェア」を推進し、円滑な大会輸送の実現等を図る狙いは歓迎する。一方、道路運送法違反の「白タク行為」の厳正なる対応が必要である。よって本案に賛成する。(山田)

4. 消費税増税の中止を求める意見書 **否決**

【反対の意見】

税率引き上げは、財政健全化と社会保障の安定財源確保に不可欠。現在は軽減税率等の対策が検討されており、消費行動への影響は少ないと判断する。将来の世代へ負担を先延ばしすることなく持続可能な社会保障制度を確立していくことが今必要であると考え、本意見書に反対する。(大坂)

【賛成の意見】

第一に、税率引き上げは住民や中小事業者に深刻な打撃を与える。第二に、消費税を社会保障財源にすることが事実でない。今回も「全世代型社会保障」目的と言いつつ、介護保険利用料の負担増等、社会保障が切り捨てられようとしている。以上の理由から、本意見書に賛成する。(牛尾)



今定例会で可決した意見書(要旨)

固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書

千代田区議会は、固定資産税の大幅減税に取り組んでまいりました。しかし依然として特別区は地価水準が高く、納税者の税負担等も他の地域に比べて大きいものであります。住宅用地の特例率の縮小及び商業地等の据え置きゾーン下限の引き上げや据え置き特例廃止などが行われた場合、区民に与える経済的影響は計り知れないものがあると考えます。よって、千代田区議会は東京都に対し、納税者が納得できる税額となるよう国に対し固定資産税の大幅減税措置を強く働きかけるよう求めるとともに、下記の事項について強く求めます。

- 1 小規模住宅用地に対する都市計画税を2分の1とする軽減措置を、平成31年度以後も継続すること
- 2 小規模非住宅用地に対する固定資産税及び都市計画税を2割減額する減免措置を、平成31年度以後も継続すること
- 3 商業地等における固定資産税及び都市計画税について負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置を、平成31年度以後も継続すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。(提出先) 東京都知事

皇居周辺の濠、河川の水質改善を求める意見書

市街化された都市において、都市河川やお濠等の水辺は、ゆとりと潤いのある良好な生活環境を確保するための貴重な資源であり、特に千代田区では、歴史的な文化資源である皇居をとりまく濠と河川は、まちの景観を形づくる基盤でありオープンスペースとして貴重な財産でもある。一方で、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会まで600日弱となり、安全で快適な都市に選手、観光客等を迎えるために、より風格あるまちづくりを進めなければならない。そのためには、濠や河川の水質改善を図り、周辺環境や景観等との調和に十分配慮することが大変重要であり、急務である。よって、濠や河川の水質改善に向け、まずは河床のしゅんせつ工事を促進するとともに、更に、かつて江戸期には、濠等は玉川上水の水で潤っていたという史実もあることから、関係する地域と連携し、玉川上水等活用による広域的な水の循環を促進する試験通水等に着手するよう強く要望するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。(提出先) 国土交通大臣、環境大臣、東京都知事

海洋汚染と生態系への影響を食い止めるため、海洋ごみの処理推進を求める意見書

海洋ごみは、多様な地域由来のものが混在しており、地方公共団体は発生抑制対策を行ったとしても問題解決につながらない状況であります。また、全国的に国内由来の海洋ごみが海岸に漂着しており、多くが河川を経由して流入していることから、海域・陸域を一体的に捉えた独自の海洋ごみ対策を実施すべきであり、国による広域での対策が必要です。よって国は、海洋ごみの処理の推進、発生抑制及び削減のため、次の事項について措置されるよう強く要望します。

今定例会で可決した決議(要旨)

「議案第46号 平成29年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について」に対する附帯決議

第3回定例会において設置された決算特別委員会において、「生業資金貸付金」の「決算年度末現在額」に誤りがあることが明らかになった。第4回定例会にて、執行機関から真正な債権額の提示及び再発防止に対する基本方針が示されたが、具体的な不納欠損処理の適正な会計処理は平成30年度末までに行うといった課題が残ったままである。

引き続き詳細な調査も可能ではあるが、更なる調査には膨大な時間を要することが想定されることから、決算審査結果を区民生活にとって重要な来年度予算に反映するには、今定例会で一定の判断をすべきと思考するものである。よって、平成29年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定にあたり、執行機関に対し以下のことを強く求めるものである。

- 1 真正な「決算年度末現在額」を基に、早期に会計上の事務処理を行うとともに、区議会に十分な説明を果たすこと
- 2 専門的な知見により債権管理に関する事務手続きを確立し、区議会に報告したのち行うこと
- 3 債権管理条例制定を視野に入れ不納欠損処理に至るより具体的な事務手続きを確立し区議会に報告したのち行うこと
- 4 適切な会計処理に係るシステムを早期に構築し、債権管理に努めるとともに区議会に報告すること

以上、決議する。

湯河原千代田荘の代替施策を求める決議

区民の掛け替えのない憩いの場である「湯河原千代田荘」が来年3月末をもって急遽閉鎖される事態となった。

このことは、高齢者の健康増進などといった区民福祉の観点からも、大きな問題と捉え、地域保健福祉委員会として本年10月に現地調査を行った結果、他自治体の旧保養施設を引き継いだ近隣宿泊施設において工夫、努力し集客している事例等を確認したところである。

よって、本区議会としては区に対し、このような事例等も考慮し湯河原地区における宿泊施設を区民に途切れることなく利用できるよう、様々な対応策を早急に検討し、区民利用者や団体の意見を十分に把握しながら、よりよい具体的な計画として示すよう強く求めるものである。

以上、決議する。

- 1 海洋プラスチック憲章への署名を実行すること
- 2 海洋プラスチックごみについては、国際社会と連携し、マイクロビーズの使用規制を含む発生抑制及び削減に向けて法的規制を含め検討すること
- 3 地方公共団体が機動的に活用できる財源措置を行うなど、積極的に海洋ごみ対策を進めること
- 4 マイクロプラスチックを含む海洋ごみの量・分布等の実態を把握するための調査をさらに推進し、国民生活への影響の回避に努めること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。
(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、環境大臣

白タク行為への更なる対策強化とライドシェアの検討に関する意見書

政府はシェアリングエコノミー検討会議を設置し、ライドシェア(自家用車での有償運送)の検討を行っております。このライドシェアは東京五輪開催等による観光客増加への対策としての期待と同時に安全性の問題といった懸念も指摘されています。

また、近年、特に外国人による白タク行為が増加しており、明白な道路運送法違反であることから、国土交通省、警察庁、法務省、業界団体等の連携により対策を行っているが解決には至っていません。よって、千代田区議会は、国会、政府に対し、次の事項について所管の措置を講じるよう要望します。

- 1 ライドシェアの検討は利用者の安心・安全を第一に観光客の増加、多様な選択肢を踏まえ検討すること。
- 2 タクシーの乗車拒否、道路運送法違反である白タク行為に対し、更なる対策、罰則強化を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。
(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣、国土交通大臣、規制改革担当大臣、国家公安委員会委員長



委員会で取り扱った陳情(平成30年11月3日～平成30年12月25日) ※詳細は、区議会ホームページでご覧になれます。

陳 情 名 (受付順に掲載)	送付委員会 () は参考送付	審査状況 (平成30年12月25日現在)
明大通り・街路樹の保存に関し拡大協議会開催を求め、加えて道路整備方針に関する陳情	企画総務委員会	審査終了
現下検討中の道路整備方針に関する陳情	(企画総務委員会)	審査終了
区営四番町アパートの建替えに関する陳情	都市基盤整備特別委員会	継続審査
東郷元帥公園改修工事について	企画総務委員会	継続審査
千代田区議会に対する陳情書	企画総務委員会	審査終了
東郷元帥記念公園改修工事について	企画総務委員会	継続審査
認可外保育施設保育料の助成制度創設を求める陳情	子育て文教委員会	継続審査
同性パートナーシップの公的承認についての陳情	地域保健福祉委員会	審査終了
障害者のために明大通りのプラタナスの街路樹の復元と保存を求める陳情	企画総務委員会	審査終了
千代田区の環境と歴史を守る神田警察通りの街路樹の保存を求める陳情	企画総務委員会	継続審査
神田警察通りの街路樹の保護育成を求める陳情	(企画総務委員会)	継続審査
人間性を養う都心の街路樹の保存を求める陳情	(企画総務委員会)	継続審査
明大通り二期工事区間の片側1車線化の説明と中止を求める陳情	企画総務委員会	審査終了
固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する陳情(2件)	地域保健福祉委員会	審査終了
東京都外神田3丁目と1丁目周辺についての治安維持と環境保全(盛り場総合対策)を求める陳情	地域保健福祉委員会	審査終了

10月～11月の主な活動

月／日	日 程	月／日	日 程
10/22～23	地域保健福祉委員会国内行政調査【湯河原千代田荘ほか】	11/ 1	地域保健福祉委員会
25	議会運営委員会 福祉施設整備特別委員会	9	子育て文教委員会
29	区民集会運営協議会 区民集会(水辺の利活用について)	12	企画総務委員会 地域保健福祉委員会
30	都市基盤整備特別委員会	13	〈平成30年第4回千代田区議会定例会告示日〉 議会運営委員会
31	企画総務委員会	19	議会運営委員会

平成30年第4回定例区議会 会期日程〈会期:11/20～12/12までの23日間〉

月／日	日 程	月／日	日 程
11/20	議会運営委員会 本会議(会期の決定・区長招集あいさつ等)	12/ 4	福祉施設整備特別委員会 オリンピック・パラリンピック対策特別委員会
21	議会運営委員会	5	議会のあり方に関する調査特別委員会 都市基盤整備特別委員会
28	議会運営委員会 本会議(代表質問・一般質問)	6	議会運営委員会
29	議会運営委員会 本会議(一般質問・議案の付託等)	7	企画総務委員会 地域保健福祉委員会 子育て文教委員会
30	企画総務委員会 地域保健福祉委員会 子育て文教委員会	11	政務活動費交付額等審査会 議会運営委員会
12/ 3	決算特別委員会	12	議会運営委員会 本会議(議案の議決等)

平成30年の議会活動から

請願・陳情

(1)請願受付・取扱件数						
受付件数	採 択	不採択	継続審査	審議未了	取り下げ	取り扱い 未定等
0	0	0	0	0	0	0

(2)陳情受付・取扱件数					
受付件数	委員会 に送付	委員会に 参考送付	審査にな じまない	取り下げ (送付前)	取り扱い 未定等
26	18	7	1	0	0

(3)送付陳情の審査内容等						
①委員会に送付						
合 計	趣旨に添った 取り扱いを すべき	趣旨に添い がたい	引き続き審 査していく	その他の取 り扱い	取り下げ (送付後)	取り扱い 未定等
19	8(2)	2	5	4	0	0
※平成29年から審査していたもの1件を含む。 ※ () は陳情書の趣旨に基づき、意見書又は要望書を提出した件数です。						
②委員会に参考送付						
合 計	趣旨に添った 取り扱いを すべき	趣旨に添い がたい	引き続き審 査していく	その他の取 り扱い	取り下げ (送付後)	取り扱い 未定等
8	0	0	2	6	0	0
※平成29年から審査していたもの1件を含む。						

本会議別議決件数

項 目	区長提出議案	委員会提出議案	議員提出議案	請願	報告
定例会					
第1回定例区議会	34	0	5	0	1
第2回定例区議会	11	2	0	0	3
第3回定例区議会	9	2	2	0	5
第4回定例区議会	5	3	6	0	0
合 計	59	7	13	0	9

千代田区議会情報公開制度実施状況

(1)請求種類別請求件数					
※公文書開示請求は、今まで公開されていない文書を公開請求すること。 情報提供請求は、既に公開している文書や会議録・委員会の記録等を請求すること。					
	請求件数	請求内容			
		本会議関係	委員会関係	政務活動費関係	その他
公文書開示請求	3	1	0	2	0
情報提供請求	5	2	2	1	0
計	8	3	2	3	0

(2) 個人、法人別請求件数 (住所・所在地内訳)						
		住所又は所在地				
		千代田区内	都内 (千代田区内を除く)	都外	国外	合計
公文書開示請求	個人	2	0	1	0	3
	法人等団体	0	0	0	0	0
	計	2	0	1	0	3
情報提供請求	個人	3	1	0	0	4
	法人等団体	0	1	0	0	1
	計	3	2	0	0	5

(3) 請求方法別請求者数内訳					
	来庁	郵送	ファクシミリ	電子メール	合 計
公文書開示請求	3	0	0	0	3
情報提供請求	5	0	0	0	5

(4) 開示等の処理状況内訳					
	開示	一部開示	非開示	不存在	合 計
公文書開示請求	0	3	0	0	3
情報提供請求	5	0	0	0	5

他議会等からの視察

千代田図書館について	議場について	アーツ千代田3331について	猫の殺処分ゼロの取り組みについて	その他	合 計
6	5	4	3	19	37

議案の審議結果等（平成30年第4回定例区議会）																	可…可決/否…否決/採…採択/不…不採択 ○…賛成/×…反対/欠…欠席/退…退席/除…除斥																	
議 員 名 等 ※議員名の下段は、会派名略称		議 案 名 等	出 席 者 数	投 票 数	賛 成	反 対	議 決 結 果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	議 決 月 日	
								岩 田 か ず ひ と 立 憲	秋 谷 こ う き 至 誠 会	岩 佐 り よ う 子 紡 憲	寺 沢 文 子 紡 憲	大 串 ひ ろ や す 公 明	米 田 か ず や 公 明	大 坂 隆 洋 自 民	池 田 と も の り 自 民	山 田 丈 夫 共 産	飯 島 和 子 共 産	牛 尾 耕 二 郎 共 産	木 村 正 明 共 産	小 枝 す み 子 声	松 本 佳 子 自 民	小 林 た か や 自 民	永 田 壮 一 自 民	内 田 直 彦 自 民	嶋 崎 秀 彦 自 民	た か ざ わ 秀 行 千 代 田	は や お 恭 一 千 代 田	林 則 行 千 代 田	河 合 良 郎 千 代 田	戸 張 孝 次 郎 自 民	小 林 や す お 自 民	桜 井 た だ し 自 民		
委 員 会 提 出 議 案	「議案第46号 平成29年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について」に対する附帯決議	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議 長 は	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12	
	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12	
	湯河原千代田荘の代替施策を求める決議	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12	
議 員 提 出 議 案	千代田区地球温暖化対策条例の一部を改正する条例	25	24	5	19	否	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	採 決 に 加 わ り ま せ ん	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	12/12	
	監査請求に関する決議	25	24	5	19	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○		×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	12/12		
	皇居周辺の濠、河川の水質改善を求める意見書	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12	
	海洋汚染と生態系への影響を食い止めるため、海洋ごみの処理推進を求める意見書	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12	
	白タク行為への更なる対策強化とライドシェアの検討に関する意見書	25	24	20	4	可	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12	
	消費税増税の中止を求める意見書	25	24	7	17	否	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○		○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	12/12	
区 長 提 出 議 案	千代田区監査委員の選任の同意について	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採 決 に 加 わ り ま せ ん	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12
	九段坂公園改修工事請負契約について	25	24	23	1	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12	
	千代田区印鑑条例の一部を改正する条例	25	24	17	7	可	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12	
	平成30年度千代田区一般会計補正予算第1号	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/12	
	平成29年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について	25	24	15	9	可	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×		○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	12/12	

◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数25名

※ 会派名 自由民主党議員団(自民)／自由民主党 新しい千代田(千代田)／日本共産党区議団(共産)／千代田を紡ぐ会・立憲(紡憲)／公明党議員団(公明)／ちよだの声(声)／立憲民主党 新生ちよだ(立憲)／千代田至誠会(至誠会)

■ 平成31年第1回定例会の主な予定

- 2月 6日(水) …第1回定例会 告示日
- 2月13日(水) …第1回定例会 招集日
- 2月20日(水) …代表・一般質問
- 2月21日(木) …一般質問
- ・ 変更となる場合もあります。
- ・ 詳細は区議会ホームページをご覧ください。



■ 区議会だより編集委員会の構成



写真左から
大坂 隆洋(自民)/米田 かずや(公明)/小枝 すみ子(声)/
委員長・小林 やすお(自民)/
副委員長・河合 良郎(千代田)/
池田 とものり(自民)/牛尾 耕二郎(共産)/
岩佐 りょう子(紡憲)/秋谷 こうき(至誠会)

